



学び舎に魂合わせ

令和6年10月18日（金）
第5号（2学期）
伊那市立東部中学校
作成 松坂 真吾

素敵な文化祭、ありがとうございました！



全深 煌めけ東部中スマイル 響け東部中魂』をテーマに準備してきた、第56回すずたけ祭が9月27日（金）、28日（土）の二日間で行われました。

1日目は、神様のお告げから東部中を取り戻す為に!?が開会を宣言し、すずたけ祭が始まりました。全校企画のステージバックの披露やバラエティーショー、総合発表、部活動発表（演劇部、吹奏楽部）が行われました。練習を積み重ねた素晴らしいパフォーマンス、部活動ならではの質の高い発表に、全校生徒が感動しました。総合発表では、本年度の前半の総合的な学習の成果を学年で行い、学習の過程の「まとめ・表現」を意識した時間となりました。また、展示発表では、日頃の学習の成果や美術部、科学部、技術部の作品等を見ることができました。



2日目の合唱発表会は県伊那文化会館で行われました。合唱部のステージ、クラス合唱、学年合唱の他に、全校合唱がありました。東部中らしい大人数の合唱の迫力、毎日のように練習を重ねてきたことによるすばらしい音色に、会場中が感動に包まれました。

- ・ 中学校最後の文化祭でした。バラエティーショーでは沢山友達が出ていて一番盛り上がったし、めちゃくちゃ楽しかったです。展示見学では色んな人と写真を撮ったり、吹奏楽部の演奏を聴いたり、沢山の思い出が出来て最高でした。2日目の合唱発表では、どのクラスもよかったです。写真を撮ったりするだけでなく、1、2年生の後輩とも話が出来て、いつもより、終わるのがすごく早く感じた2日間でした。(3年生)
- ・ 僕は総合発表者として緊張して学校に来ました。しかし、友だちが背中を押してくれて、ステージの上では緊張することなく発表できてよかったです。文化祭は、日常では体験できないことがたくさんできた気がします。(2年生)
- ・ どのクラスもきれいな歌声でしたが、やっぱり3年生と全校合唱が一番良かったです。みんなの声が合わさるとこんなに「すごい」って感じるんだと思いました。(1年生)



1710 その五

文化祭は非認知能力のかたまり？

数年前、学級担任をしていた時、生徒から尋ねられたことを思い出しました・・・

「先生、文化祭はテストに出ますか？一生懸命やる価値はありますか？」

「う～ん、文化祭にしかないものって大事だし、楽しい気がするけど・・・」

この説明難しいなあと感じた記憶があります、もちろん正解はありません。

最近では、人間の能力を認知能力と非認知能力に分類し、全体的に資質・能力を育成していくという考え方が一般的になってきたように思います。

生成AIによると、認知能力は、知能検査や学力テストで測定できる能力で、知識や技能、思考力、記憶力、計算力、言語力などが含まれており、非認知能力は、テストや検査では測定できない能力であり、意欲、自信、忍耐

、自立、自制、協調、共感などの心の部分や社会性に関する能力が含まれているようです。

非認知能力は、大きく分けて、自分の内にある力と他者との関わりの中で発揮される力と整理でき、

① 自分自身の内にある力

がまんをする、あきらめない、目標に向かってがんばる、最後までやり遂げる、新しいアイデアを生み出す、挑戦しようとする、失敗しても立ち直れる、自己肯定感をもつ、感情をコントロールするなど

② 自分以外の他者と関わる力

協調しながら物事を進める、他人の意見を尊重する、人の気持ちに共感する、相手の立場になって考える、コミュニケーション能力、思いやりをもつなど

この非認知能力には、「社会のさまざまな問題を解決する可能性がある」「状況を的確に判断し自ら考えて行動する力は、これからの時代を生き抜くためには非常に重要」と認識されつつあり、就職活動や大学入試においても人格や人間力をみる試験に移行してきています。

今の時代、「褒めて伸ばす」なんて言われますが、非認知能力との関連もあると思います。そう考えると、「子ども自身が興味をもったことは積極的に取り組めるようにする」「子ども自身が決める」という経験をさせ、「失敗しても前向きな声かけでサポートする」「がんばっている経過を褒める」という価値にも納得できます。



11月の主な予定(18日～29日読書旬間)

6日(水)2 学期期末テスト① 3年実力テスト⑤

7日(木)2 学期期末テスト②

21日(木)伊那市中学生キャリアフェス(2年生)